

令和5年度
タブレット活用
実践集

赤穂市教育研究所

ICT 研究部会

実践一覧〔掲載順〕

【国語】

〔3年〕これがわたしのお気に入り（城西小）

〔3年〕山小屋で3日間すごすなら（坂越小）

〔6年〕帰り道（塩屋小）

【算数】

〔1年〕かたちづくり（赤穂小）

〔2年〕三角形と四角形（尾崎小）

〔6年〕対称な図形（塩屋小）

〔6年〕立体の体積（塩屋小）

【社会】

〔6年〕アジア・太平洋の戦争（塩屋小）

【理科】

〔5年〕流れる水のはたらき（塩屋小）

【生活】

〔2年〕ぐんぐん育て わたしの野菜（高雄小）

〔2年〕もっとなかよし町たんけん（御崎小）

【図画工作】

〔2年〕わっかでへんしん（高雄小）

〔3年〕ピクセルアート（坂越小）

【体育】

〔4年〕マット運動（赤穂小）

【総合的な学習の時間】

〔3年〕環境について考えよう（城西小）

【道徳】

〔2年〕せかいはつながっている（尾崎小）

【特別活動】

〔6年〕学級会「クリスマスパーティーをしよう」（塩屋小）

〔5・6年〕委員会活動「放送委員会の取組」（高雄小）

【特別支援学級 自立活動】

〔5年〕交流会を成功させよう（御崎小）

3年 国語科 「これがわたしのお気に入り」 (城西小学校)

【事前】

- ①タブレットパソコンを持ち帰らせ、家にあるお気に入りの物などを撮影させる。

【授業での取り組み・活用方法】

- ①撮影した画像を Google スライドに挿入する。
- ②画像を説明する文章をうつ。
- ③電子黒板に作成したスライドを映し、発表を行う。



【授業のようす・児童の反応】

- 家で自分のお気に入りの物を探させることにより、様々なお気に入りの物が出てきた。
- 写真を見ながら、発表を聞くことができるので、発表も盛り上がった。
- 文字を打つことに苦労している児童も見られたが、助け合いながら、文章を作成することができた

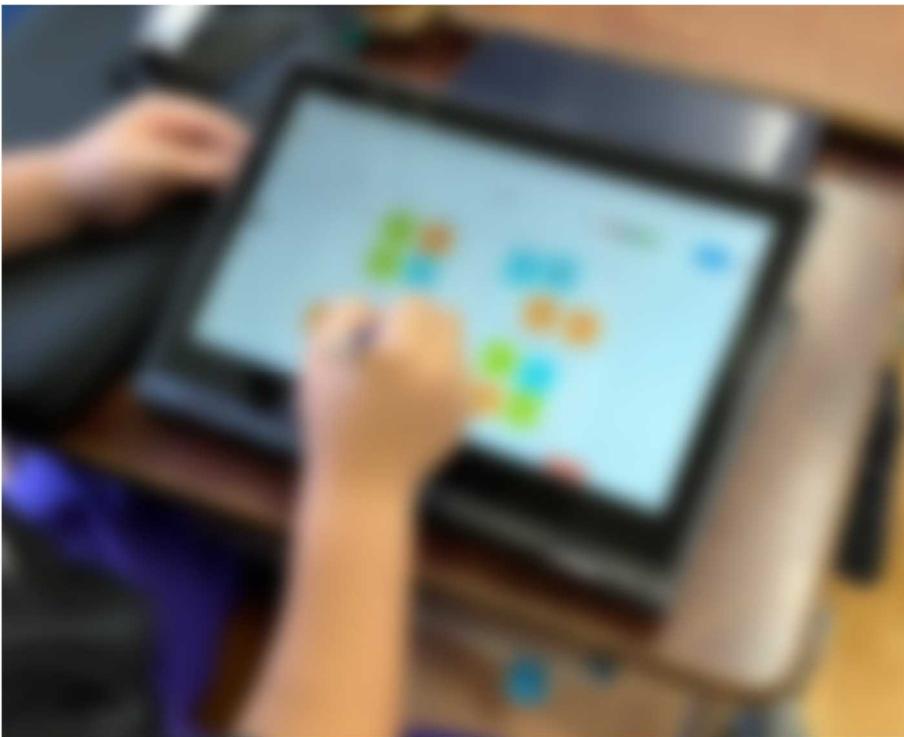
3年 国語科 「山小屋で3日間すごすなら」 (坂越小学校)

【事前】

- ①Jamボードを児童と共有する。
- ②Jamボードのシートを班の数だけ作っておく。

【授業での取り組み・活用方法】

Jamボードのシートを班ごとに割り当て、取り組ませる。



【授業のようす・児童の反応】

- 3年生はとてもスムーズにJamボードを使いこなしていた。
- 付箋で意見を出し、分類を班で相談しながら行うことができた。

6年 国語科 「帰り道」 (塩屋小学校)

【事前】

- ①Jamboard に表を作る。
- ②グループの数だけコピーしてシートを増やす。
- ③Classroom に課題として配付する。

【授業での取り組み・活用方法】

※展開部分での取り組み

- ①登場人物「周也」からみた「律」、読み手（児童）からみた「周也」の性格などを付箋に書き込んでいく。

- ②誰が書いたか分かるように、付箋の色を分ける。

- ③付箋をもとに、なぜそう考えたのかグループで交流する。

- ④全体場で、各グループの表を確認しながら、登場人物の性格をまとめていく。

【授業のようす・児童の反応】

- Jamboard を活用したことで、話し合いでは意見を出しにくい児童も積極的に付箋に書き込んでいた。
- 意見を出し合う中で、「どこからそんな性格ってわかったん?」「それ俺も思った!」など自然と話し合いが始まった。班によって多少活動に温度差はあったが、全ての班で意見を出すことができた。

帰り道「2」 周也の視点から

周也 ↓ 律	おだたか	おっとりとした性格	あまり喋らない	落ち着いた	静か	おっとりしている	落ち着いた
		単純	冷静	はっきりしない	マイペース	余裕がある	いつもマイペース
読み手 ↓ 周也		静かなところが苦手	気まずいところが苦手	気まずい沈黙が苦手	明るい	お喋り	沈黙が苦手
			落ち着きがない	友達思いな一面もある	よく喋る	落ち着きがない	会話のキャッチボールが苦手

1年 算数科 「かたちづくり」 (赤穂小学校)

【事前】

- スライドで課題を用意しておく。

【授業での取り組み・活用方法】

- 三角形の色板を移動させ、いろいろな形作りをする活動をタブレット上で行った。

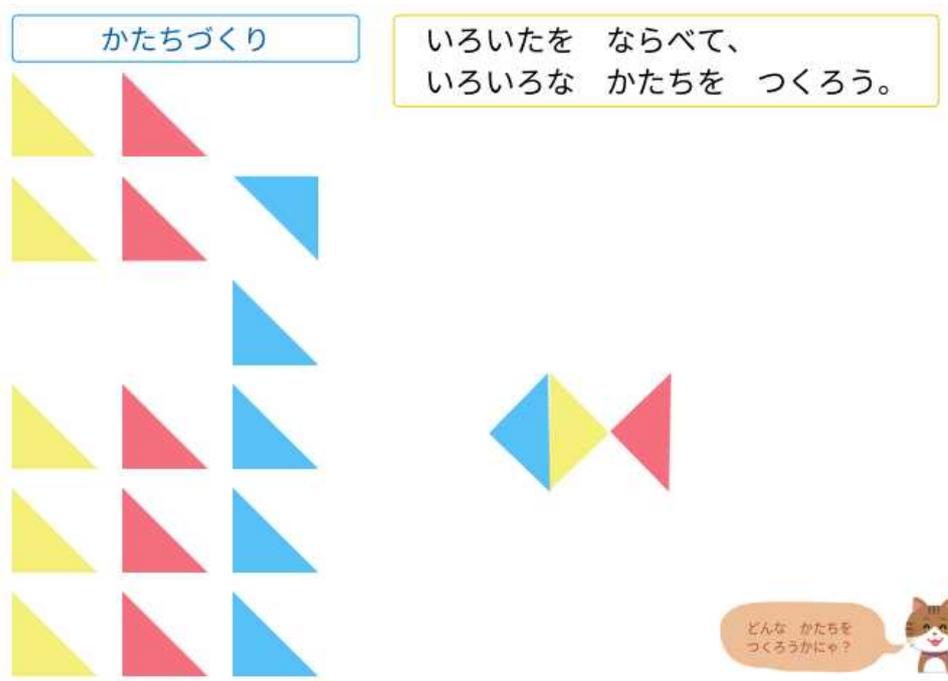
【授業のようす・児童の反応】

〈よかった点〉

- 使用する色板をお道具箱から出し入れする手間を省ける
- 机上が整理できるので、次の活動に移るのがスムーズである
- 作った形を担任がテレビに映すことで共有しやすい
- 図を動かすだけなので1年生でも難しくない

〈改善点〉

- 特になし。



2年 算数科 「三角形と四角形」 (尾崎小学校)

【事前】

- スクールタクトで課題を用意しておく。

【授業での取り組み・活用方法】

- 長方形や正方形、直角三角形を移動させるのをタブレットで行った（写真参考）

【授業のようす・児童の反応】

〈よかった点〉

- 使用する模様を児童が切る手間が省ける。
- 使える模様が非常に多くあるので敷き詰めが容易である。

〈改善点〉

- スクールタクトの使用が終了するため、他の媒体で代替える必要がある。



6年 算数科 「対称な図形」 (塩屋小学校)

【事前】

- ①Google フォームを使う。設定タブを開き、「テストにする」をON、「成績発表」をONにするなどの設定をする。
- ②問題を作成する。(今回は5問)
- ③問題ごとに解答集を作成し、配点も決める。
(今回は各10点、合計50点)
- ④フォームごとコピーを作成する。
- ⑤小テストとして児童に配付する。

① 1本の直線を折り目にして折ったとき、折り目の両側がぴったり重なる図形を何というか。

B I U ↺ ↻

点対称

線対称

点図形

線図形

選択肢を追加 または「その他」を追加

解答集を作成 (10ポイント)

【授業での取り組み・活用方法】

※単元の途中(用語を学習した後)に実施。

①授業の最初に取り組みさせる。

②解答した児童から送信ボタンを押し、正解を確認する。

③間違えた場合、教科書などを見て確認する。

④授業終わりに、再度同じ小テストに取り組みさせる。

⑤解答を確認する。

③ある点を中心にして180°回すと、もとの形にぴったり重なる図形を何というか。*

線対称

点図形

線図形

点対称

④ ③の図形で、その中心の点のことを何とよぶか。*

対称の中心

対称の軸

対称の点

対称の頂点

【授業のようす・児童の反応】

- ・今回は事前に予告をしての実施だったが、1回目の小テストでは、3分の2程度の児童が合格した。
- ・2回目の小テストでは全員が合格した。
- ・選択肢から選ぶ問題であったため、理解度が低い児童もそこまで時間をかけず解くことができた。
- ・単元終了後に行う紙テストでは、あまり用語に関する問いがないので、用語の意味を理解させるために有効であると感じた。

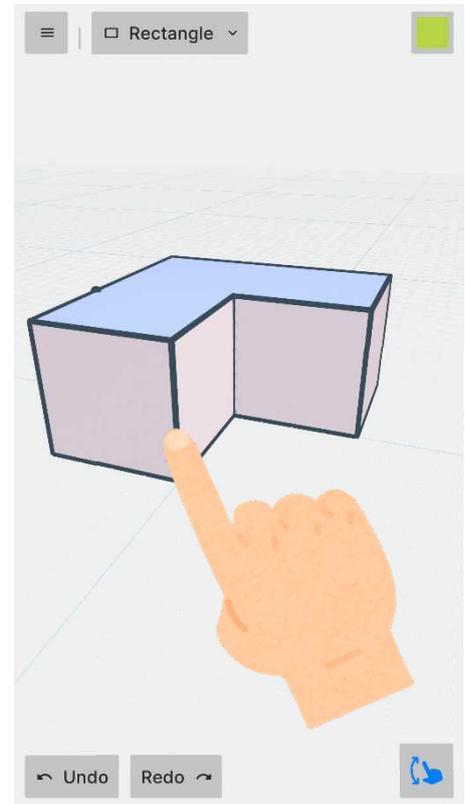
6年 算数科 「立体の体積」 (塩屋小学校)

【事前】

- ①「Bloom3D」というサイトを使って授業で取り扱う立体を作る。
- ②作った図形がスムーズに動くか確認する。

【授業での取り組み・活用方法】

- ①導入で作った図形を動かして見せることで、どのような既習の図形が組み合わさった複合図形かイメージが持てるようにする。
- ②個人思考の際、児童にタブレットを用いて図形を動かすよう促すことで、底面積がどこにあるか捉えることができるようにする。
- ③全体で考え方を共有する際に、より早く計算できる仕方について考えさせることで、「底面積×高さ」という公式を導いていく。
- ④適応問題でつまづいている児童には、3Dモデルを動かしてどこが底面積になるか捉えられるようにする。



【授業のようす・児童の反応】

- 教科書では、動かせない図として載っているだけなので、児童は3Dモデルを実際に動かすことで、底面積がどこになるかを考えやすくなっていた。
- 立体模型が無い場合でも立体を用意することができるので、適応問題や小テストに取り組んだときに、解くことが出来ず悩んでいる児童の助けとなっていた。

6年 社会科 「アジア・太平洋に広がる戦争」 (塩屋小学校)

【事前にする事】

- ①Jamboard に教科書の画像を取り込む。
- ②活動することを端的に載せる。
- ③グループ分コピーしてファイルをつくる。
- ④Classroom に課題として配付する。

【授業での取り組み】

※導入での取り組み

- ①各班で、資料からわかることを出し合う。



なにをしているかななどの事実→テキスト入力で。
思いや気持ち→ふせんで（背景に色をつける）

- ②出し合った意見をもとに、互いの意見に対し質問をしたり、より深まった考えを出し合ったりする。

女の子が武器を作っている

みんなはちまきをしている

一人指導者がいる

子供が中学生で戦争に向かわないといけないから練習している

男の子が武器を持って戦争に行くための訓練をしている

普段とあまりの生活がしたい

勉強したい

戦争なんて女中か作ればいいし練習やる必要はない

子供にやらせるなんて危険だ

苦しい

戦争なんてなくなったらいい

やりたくない

こんな生活嫌だ

嫌すぎて無感情

- ③電子黒板に映し、各班の意見を確認する。

- ④そうした意見をもとに、その時間の課題を設定する。

【授業のようす・児童の反応】

- Jamboard を活用したことで、全体の場での発表が苦手な児童も含め、多くの意見を出すことができていた。
- 意見を出し合う中で、自然と班で話し合いが始まり、「これは違うと思う。」「ほんまや！」などといった意見や反応が生まれ話し合いが活性化していた。ただし、班によって活動に温度差はあったため、全ての班が同様の活動をできていたわけではない。

5年 理科 「流れる水のはたらき」 (塩屋小学校)

問題 実際の川でも、同じようなはたらきがあるのだろうか

【事前】

- ①調べさせたい川を教師があらかじめ検索しておく。川原や川の外側・内側の分かり易い川をピックアップしておく。

【授業での取り組み・活用方法】 GoogleEarth



- ①前時までの復習をして、本時の問題をつかむ。
 - ・曲がって流れているところの外側と内側で石や砂のつもり方などに違いがあるか。
- ②グーグルアースの使い方をモニターで見せる。
グーグルを開く⇒9つの点から「Earth」を選択⇒検索バーで「〇〇川」⇒『ズーム』『2Dビュー』『3Dビュー』『人型マーク（グーグルマップのように地面におりる）』の意味を見せながら説明。
- ③観察するポイントを共通理解する。
 - ・川の曲がりかど、川原のようす、砂のつもり方をみる
- ④各川の観察で分かったことを発表したり、ワークシートにメモしたりする。

【授業のようす・児童の反応】

- ・教科書では、実際の川を観察しに行くようになっているが、難しいので良かった。日本の川だけでなく外国の川の観察もできて、学びに広がりがあった。
- ・児童は、上流や下流に行ったり、着地したりして、個人で集中して調べることができていた。「川原ができていること」「外側はしん食がはげしく削られていること」など、前時までの実験で学習したことを実感していることが、つぶやきや発表から見取ることができた。

2年 生活科 「もっとなかよし 町たんけん」 (御崎小学校)

【事前】

- ① Google classroom への入り方を教える。
- ② 班ごとに写真のフォルダを作成し、そのフォルダのURL を classroom に貼り付けておく。

【授業での取り組み・活用方法】

○町探検で撮影した写真の中から、伝えたい内容に合っている写真を選び、印刷したり絵に描いたりして、町探検の様子を画用紙にまとめる。

○まとめたことを1年生に発表する。

【授業のようす・児童の反応】

○個人のタブレットで写真を見返すことで、見たものや学んだことを思い出すことができ、スムーズにまとめることができていた。

○写真があることで意欲的に学習のまとめができていた。



まちたんけんの様子紹介
Aグループ
Bグループ
Cグループ
Dグループ
Eグループ
Fグループ



2年 図画工作科 「わっかでへんしん」 (高雄小学校)

【事前】 Google Chrome の使用方法を教える

- ①・カメラの使用方法
 - ・classroom への入り方を教える。
- ②classroom に youtube の動画をUPしておく。

【授業での取り組み・活用方法】

- ①classroom に「紙の折り方・切り方」などの動画をUPし、それを見て工作できるようにする。



- ②カメラを起動し、自分の姿を映しながら（写真には撮らずに）工作する。

【授業のようす・児童の反応】

- 自分が見たいところを再生できるため、工作の幅が広がった。
- カメラで自分を映し、自分が変身する姿を見ることで、想像が広がりやすく、意欲的に作成することができた。



4年 体育科 「マット運動」 (赤穂小学校)

【事前にすること】

- ①クラスルームに本時の技のお手本動画を載せる
- ②クラスルームに活動内容を端的に載せる。
- ③クラスルームにマットの配置図を載せる
- ④クラスルームにタイムシフトカメラのURL を載せる



【授業での取り組み】

グループ練習での取り組み

- ①各班で、お手本動画を見ながら練習する。
- ②班内で、お互いの技の動画を撮り、お手本と比べながら話し合う。
- ③話し合った改善点をもとにさらに練習に取り組む。
- ④タイムシフトカメラを使って、自分の技の出来映えを毎回確認しながら練習する。



https://kaihatuinkai.jp/time_shift/in_camera_slow_motion.html

【授業のようす・児童の反応】

- ・自分のタブレットでお手本を見ながら練習に取り組むことで技のポイントを意識しながら練習に取り組めた。
- ・お手本の動画と自分の技の動画を比較しながら見ることで自分の課題を見つけることができた。
- ・単元の後半ではタイムシフトカメラを使用することで撮影時間を短縮し、練習時間を増やすことができた。

3年 総合的な学習の時間 「環境について考えよう」 (城西小学校)

【事前にするこ】

- ①児童が打ち込むグーグルスライドを準備する。
- ②グループ分コピーしてファイルをつくる。
- ③Classroom に課題として配付する。



【授業での取り組み】

- ①各班で、赤穂市ゼロカーボンシティに向けて、二酸化炭素を減らすために私たちにもできる活動をグループに分かれて調べる。
- ②調べたことをスライドにまとめる。
- ③電子黒板に映し、発表する。
- ④自分たちでまとめた二酸化炭素を減らすための9つの取組を、スライドを利用しチラシを作成して、全クラスへ配付と啓発を行った。

【授業のようす・児童の反応】

- ・グーグルスライドを画面に映しながら発表することで、伝わりやすい発表となった。
- ・タブレットの操作が難しい場合は、スライドだけでなく、画用紙にまとめてもよいことを伝え、スキャンして画像としてスライドの中に貼り付けることで、デジタルとアナログを融合させた。

2年 道徳科 「せかいはつながっている」 (尾崎小学校)

【事前】

- Jamboard で班の数ずつシートを用意しておく。

【授業での取り組み・活用方法】

- 授業の導入にて、外国から来たものと日本に昔からあるものの分類を Jamboard を使用して、班で行った。(写真参考)

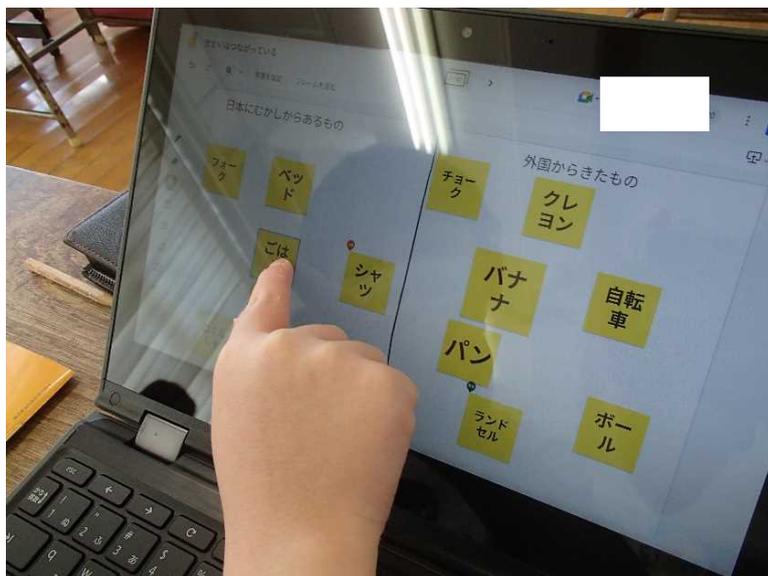
【授業のようす・児童の反応】

〈よかった点〉

- 同じ班の子たちで話し合いながら、2つに分類することができ、その後の「身の回りの物は外国から来た物であふれている」という気付きにつなげることができ、ねらいにせまることができた。
- 手軽に意見を移動できた。

〈改善点〉

- 勝手に友達の意見を動かして揉めごとが起こったので、意見を移動させる際のルールが必要であった。
- 班で1人操作する人を決めてもよかった。



6年 学級活動（1）「クリスマスパーティーをしよう」 （塩屋小学校）

【事前】

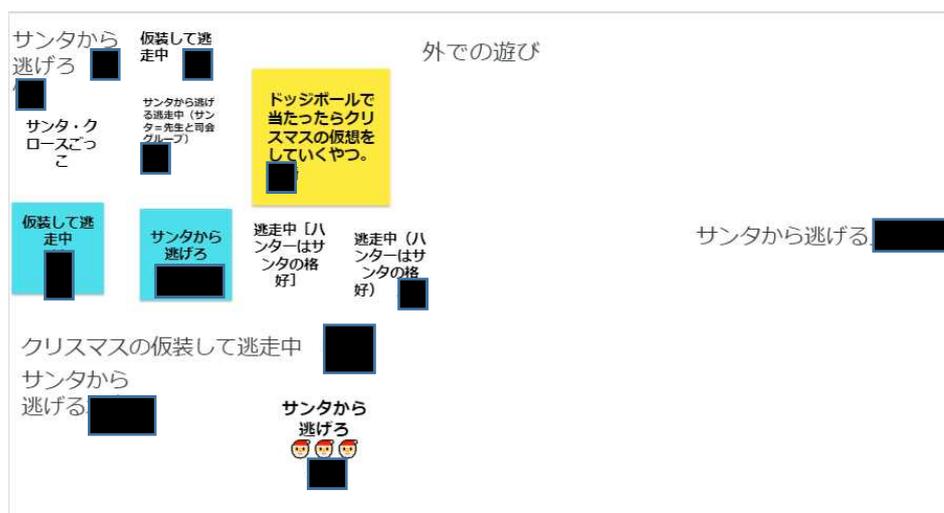
- ①Jamboard に話し合う内容（柱）を入れる。（1ページにつき1つの柱）
- ②グループの数だけシートをコピーする。（人数が多く、1枚だと見にくいいため）
- ③Classroom に課題として配付する。

【授業での取り組み・活用方法】

- ①柱に対する意見を1人1つ書く。

- ②誰の意見が分かるようにするため、名前を入れる。

- ③出てきた意見をもとに、理由を発言していく。



- ④最終的にこの中から1つに決める。

【授業のようす・児童の反応】

- Jamboard を活用したことで、話し合いでは意見を出しにくい児童も積極的に書き込んでいた。
- 全員から意見を出させたことで、とてもユニークな意見も出てきたため、話し合いが盛り上がった。

5・6年 委員会活動「放送委員会による高雄ニュース」 (高雄小学校)

【事前】

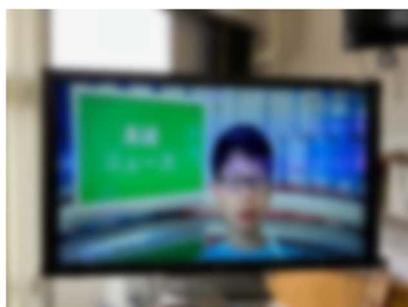
- ①1学期の始めに、2学期から ZOOM を使った、給食中の生放送「高雄ニュース」があることを告知し、1学期間で相手意識をもった放送ができるようになるよう練習していくことを伝える。
- ②9月は、生放送の前段階として、緊張して失敗してもいいように「高雄ニュース」を録画し、給食時間中に各クラスで放送してもらう。

【授業での取り組み・活用方法】

- ①委員会の時間に、1ヶ月間の予定を示し、ニュース原稿を考えてくるように伝える。

放送委員 ZOOM使用の放送について		名前()	
今後の予定		放映の案内放送	
10/4~7	お勉強に行く(書いてもらう)と自分で伝えたいニュースを考えて、書く。	○ 今からお昼の放送を始めます。 今日は○年の○○がお送りします。	
10/11~14	回収(13日) → 選別 → 土日で練習(コメント付け加えも)	○ 今日のこんだてを紹介しします。 今日の栄養一口メモを紹介しします。	
10/17~21	練習と録画	○ 今日は高雄ニュースを放送しします。 各学年の先生方はタブレットでクラスルームを開き、動画を流してください。よろしくお願します	
10/24~28・31	放映の案内放送(各クラスで) 27・28通常放送(山下 31日6年2人)	ニュース原稿	
放送委員用 10/11(火)提出 自分で伝えたいニュースを考える! できたら、必ず先生に確認してもらうこと!		① こんにちは、高雄ニュースの時間です。 今日は○○がニュースをお届けします。	
○世の中で起きていること。(新聞やニュースをもとに。できれば良いことを中心に) ※放送日に近い内容で! ※気を付けてほしいことなど		② 各学年で選んだ人のニュース ※コメントを付け加える。(感想もOK!)	
○学校での出来事。(良いことを中心に) ・いいこと見つけ、がんばっていること見つけ ・行事について 6年は修学旅行、8年は自然学校に向けて、どんなことをしているか、など		1年	
○季節ごとの、催しや旬のものなどについて ・ランキング形式		2年	
		3年	

- ②本番では、空き教室にて ZOOM を使い、生放送で「高雄ニュース」を行った。



【授業のようす・児童の反応】

恥ずかしそうにする素振りもあったが、回を重ねるごとに、周囲から褒めてもらうことも増え、充実した活動となった。

特別支援 自立活動 「交流会を成功させよう」 (御崎小学校)

【事前】

- ① ジャムボードの使い方を教える。
- ② 誰がどのゲームのルール説明をするかを決めておく。
- ③ 画像の保存・貼り付けの方法を教える。

【授業での取り組み・活用方法】

- ゲーム説明をするときに、スライドを電子黒板に映してみんなに見せるため、見て分かるようなスライドを作る活動を行った。
- レイアウトを工夫したり、画像を挿入したりすることで、低学年の児童にも伝わるような分かりやすいスライドを作ることをめあてにした。

【授業のようす・児童の反応】

- スライドを見合うことで、分かりやすくなるようにアドバイスをしたり、友達のスライドを参考にしたりすることで、対話しながら学習を進めることができた。

